

# 平成28年度青少年教育施設のあり方を考える懇話会における総合評価シート

平成28年12月27日

施設名	青少年センター	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

## 1. 施設の概要

施設所在地	香南市野市町西野303-1
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営に関すること</li> <li>・施設の利用の許可に関すること</li> <li>・設備の維持管理に関すること</li> <li>・主催事業及び受入事業の企画運営に関すること</li> </ul> <p>&lt;平成27年度主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大自然キャンプ ・中1学級づくり合宿 ・クラスまるごとお出かけ授業</li> <li>・のいちこども村 ・イングリッシュキャンプ ・わいわいチャレンジ</li> <li>・ボランティア養成講座 など</li> </ul>
施設内容	<p>「青少年の健全な育成」と「スポーツの振興」の2つの役割を担っているが、これらのためにはとりわけ、義務教育段階などにある児童・生徒の心と体の成長に資する取り組みが重要であることから、学校現場をはじめとした関係団体などと連携して社会教育や体力・競技力の向上などに向けた事業を推進している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート 3階建 延べ2,214.68㎡          宿泊棟 鉄筋コンクリート3階建 延べ1,416.72㎡          体育館 鉄筋コンクリート・小屋組木及び鉄骨造2階建 延べ9,330.81㎡</p> <p>施設概要:</p> <p>本館 青少年ホール(定員200名)          会議室(定員30名×3室)          視聴覚室(定員42名)          調理室(定員24名)</p> <p>別館 食堂(定員174名)          会議室 和室(定員20名×2室)          宿泊棟(定員151名)          浴室(大浴室・小浴室)</p> <p>野外炊飯棟 定員80名          補助グラウンド          ソフトボール球場          体育館 大アリーナ          小アリーナ          トレーニング室          医科学測定室          会議室          陸上競技場兼、サッカー場</p>
職員体制	<p>職員: 所長 1名 次長 1名 事業課長 1名 チーフ 1名 主任 1名          主任社会教育主事 4名 非常勤職員 1名 <span style="float: right;">合計: 10名</span></p> <p>現業部門は、土佐青少年育成会に委託(12名)</p>

## 2. 利用実績

### (1) 宿泊者数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
宿泊者数	7,856	7,915	9,199	7,264	8,648	8,176

### (2) 利用団体数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
団体数	1,740	1,929	2,023	1,914	2,039	1,929

### (3) 利用者数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平均
人数	117,666	123,499	122,017	114,024	119,478	119,337

## 3. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「中一学級づくり合宿事業」をはじめとする学校との連携事業については、事前に「学校のねらい」について協議し、事後にも訪問を行うなど、学校現場が抱える課題の解決に寄与している。また、事後アンケートでは生徒や学校からも好評を得ている。</li> <li>○施設のみならず、「大自然キャンプ」等施設外での事業を展開するなど、新たな取組が出来ている。</li> <li>○「スポーツ振興事業」では、本県のスポーツ選手の育成に幅広く貢献している。</li> <li>○地域の住民を対象とした「体力測定」の実施や、近隣施設のイベントへの協力など、地域社会との連携が行われている。</li> </ul>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校・市町村教育委員会への訪問や競技力向上委員会に参加し、意見交換を行い利用者のニーズを把握するよう努めている。</li> <li>○夏休み及び春休み期間中は休館日なしで対応し、ハード面でもソフト面でも職員間で情報共有し、速やかな改善に努めている。</li> <li>○県の防災拠点及び地域の避難所となるため、地震防災に関する職員研修や派遣を行い、緊急時の備えの意識を高めている。</li> </ul>
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎朝の朝礼や定期的な所内会を持ち、職員全員で必要な情報を共有し、風通しのいい職場作りに努めている。</li> <li>○現業部門を委託している一般財団法人土佐青少年育成会と密接に連携し、相互の意思疎通に努め円滑な運営ができています。</li> </ul>
④利用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成26年度と比較して、宿泊者数：1,384名増加、利用団体数：125団体増加、利用者数：5,454名増加。</li> </ul>
⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成26年度と比較して、使用料収入は878千円の増収となった。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>総合評価</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>○多様な事業のラインナップに努め、スポーツ設備が充実している施設の特性を活かして参加者・利用者的大幅な増加に繋げていることは大いに評価できる。</p> <p>○学校現場が抱えている問題解決に寄与するため、現場との積極的な意見交換によりニーズの把握に努めている。</p> <p>○スポーツ設備が整備されており、安定した利用者を確保している。東京オリンピック・パラリンピックを控え、スポーツ人口の増加が予想されるため、これまで以上にスポーツ振興に注力した取組を期待する。</p> <p>○「中一学級づくり合宿事業」について、1学期の早い時期のみではなく、中2・中3進級時の「心づくり」に対応したプログラムなど、学校現場の課題やニーズに幅広く対応できるような取組を期待する。</p> <p>○改築後は、これまで以上に施設の特性を活かすためのコンセプトを明確にし、各種研修の受入れに加え、指導者の育成や地域との連携・協力、地域の子どもたちの居場所づくりのほか、主催事業については、既存プログラムのカスタマイズに止まらず、新たな視点を取り入れた取組を期待する。</p>
--	--

**【評価の目安】**

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの